

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券 …… 償却原価法によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

什器備品 …… 定額法によっている。

ソフトウェア …… 定額法によっている。

(3) リース取引の処理方法

所有権移転外ファイナンスリース取引については、重要性が乏しいため、通常の賃貸借取引に係る方法に準じて処理している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産の増減額及びその残高

基本財産の増減額及びその残高は、次の通りである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
預金	300,000,000	0	0	300,000,000
投資有価証券				0
マツダ株式会社社債	200,000,000	0	0	200,000,000
利付国債	100,000,000	0	0	100,000,000
政府保証債	200,000,000	0	0	200,000,000
ユーロ円債	200,000,000	0	0	200,000,000
合 計	1,000,000,000	0	0	1,000,000,000

3. 基本財産の財源等の内訳

基本財産の財源等の内訳は、次の通りである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応す る額)
基本財産				
預金	300,000,000	300,000,000	0	—
投資有価証券				
マツダ株式会社社債	200,000,000	200,000,000	0	—
利付国債	100,000,000	100,000,000	0	—
政府保証債	200,000,000	200,000,000	0	—
ユーロ円債	200,000,000	200,000,000	0	—
合 計	1,000,000,000	1,000,000,000	0	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次の通りである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	1,256,000	1,130,400	125,600
ソフトウェア	308,000	153,990	154,010
合 計	1,564,000	1,284,390	279,610

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

	科 目	帳簿価額	時価	評価損益
SMBC	第239回日本高速道路 保有・債務返済機構債	100,000,000	105,010,000	5,010,000
SMBC	第30回マツダ社債	200,000,000	198,420,000	△ 1,580,000
岡三	第270回日本高速道路 保有・債務返済機構債	100,000,000	100,830,000	830,000
岡三	モルガン・スタンレー B.V (ユーロ円債)	100,000,000	103,323,200	3,323,200
三菱	第130回利付国債(20年)	100,000,000	112,291,000	12,291,000
三菱	ハーグレイズ・ハンク・ピールシー (ユーロ円債)	100,000,000	111,486,000	11,486,000
	合 計	700,000,000	731,360,200	31,360,200